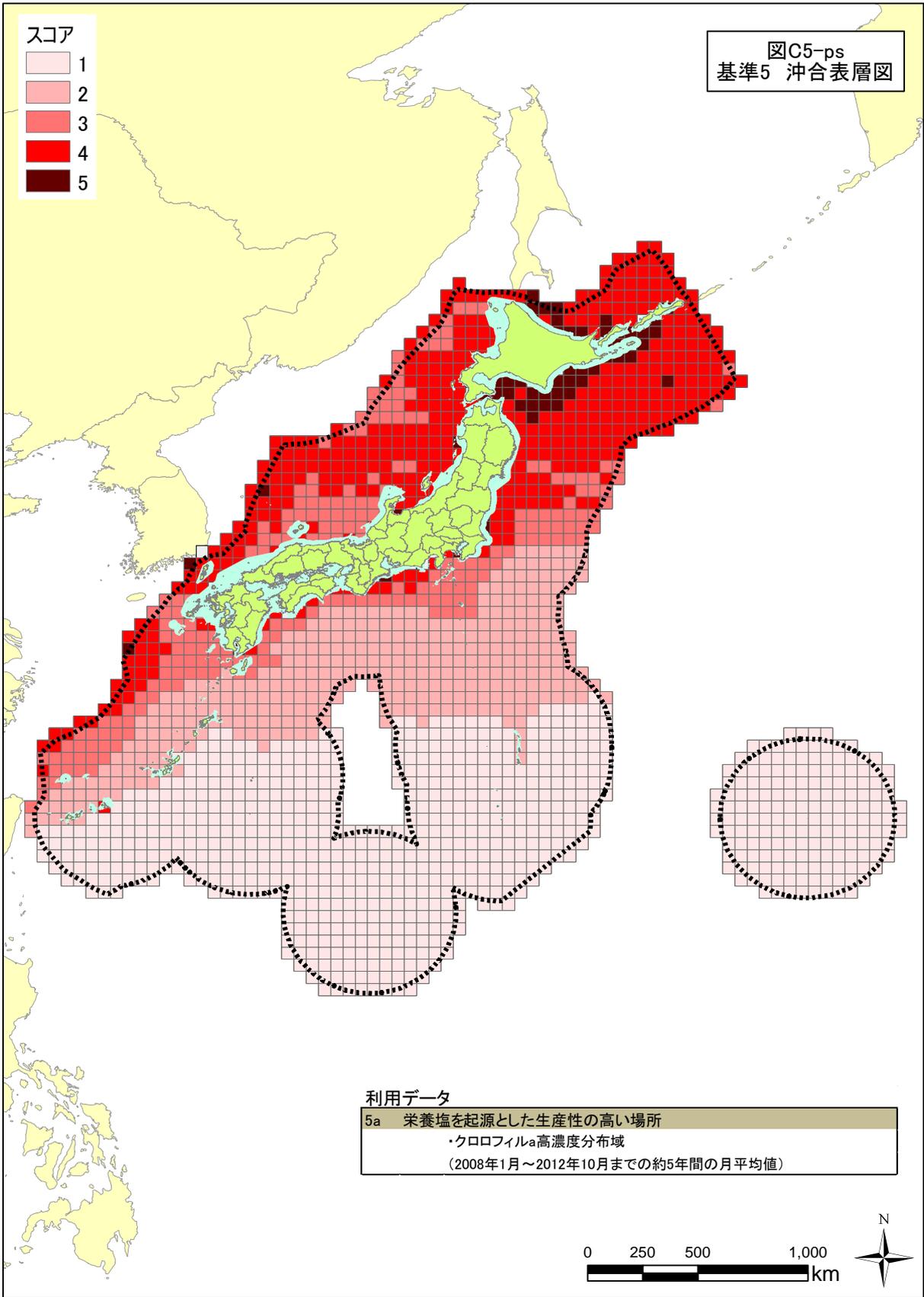
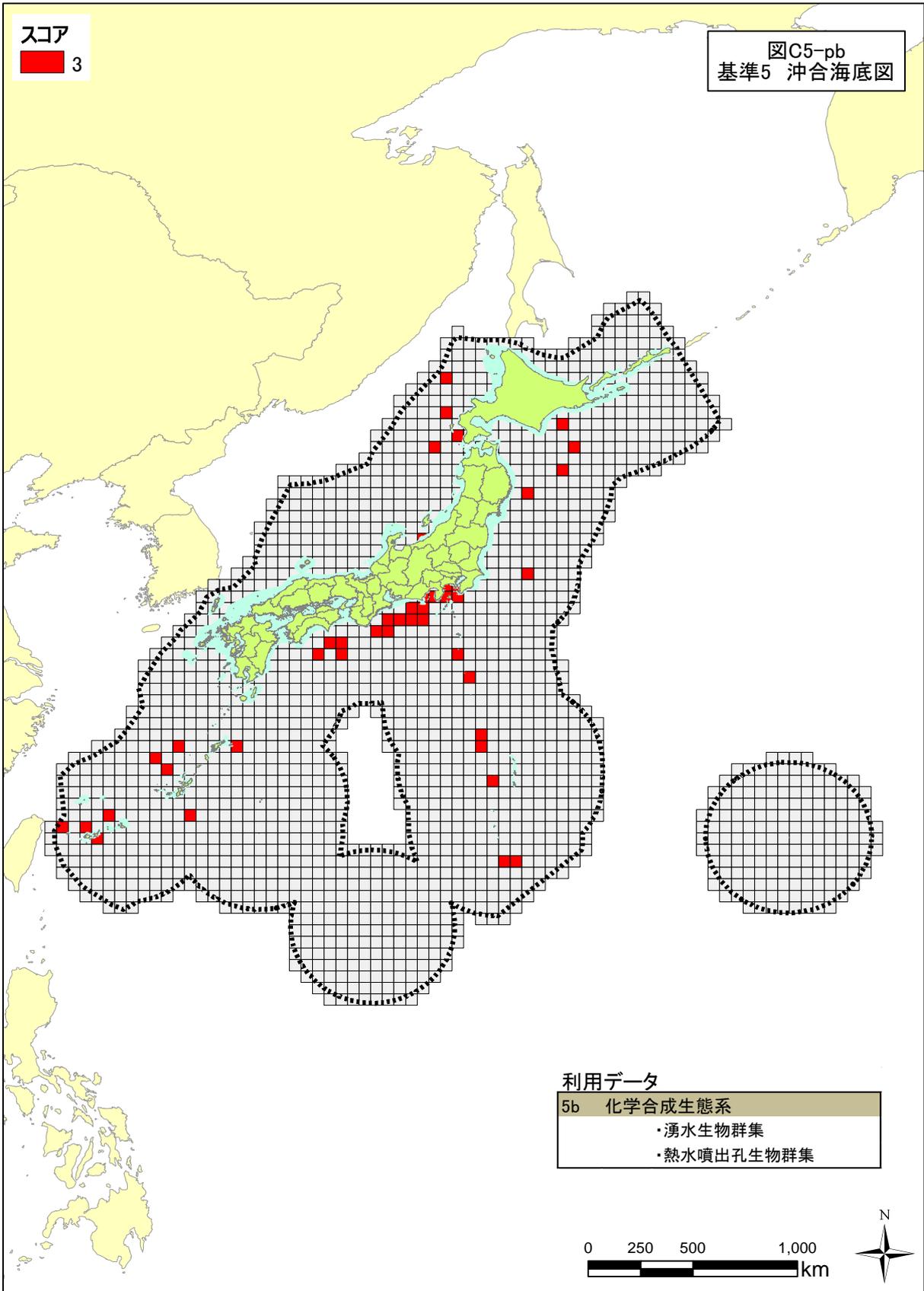


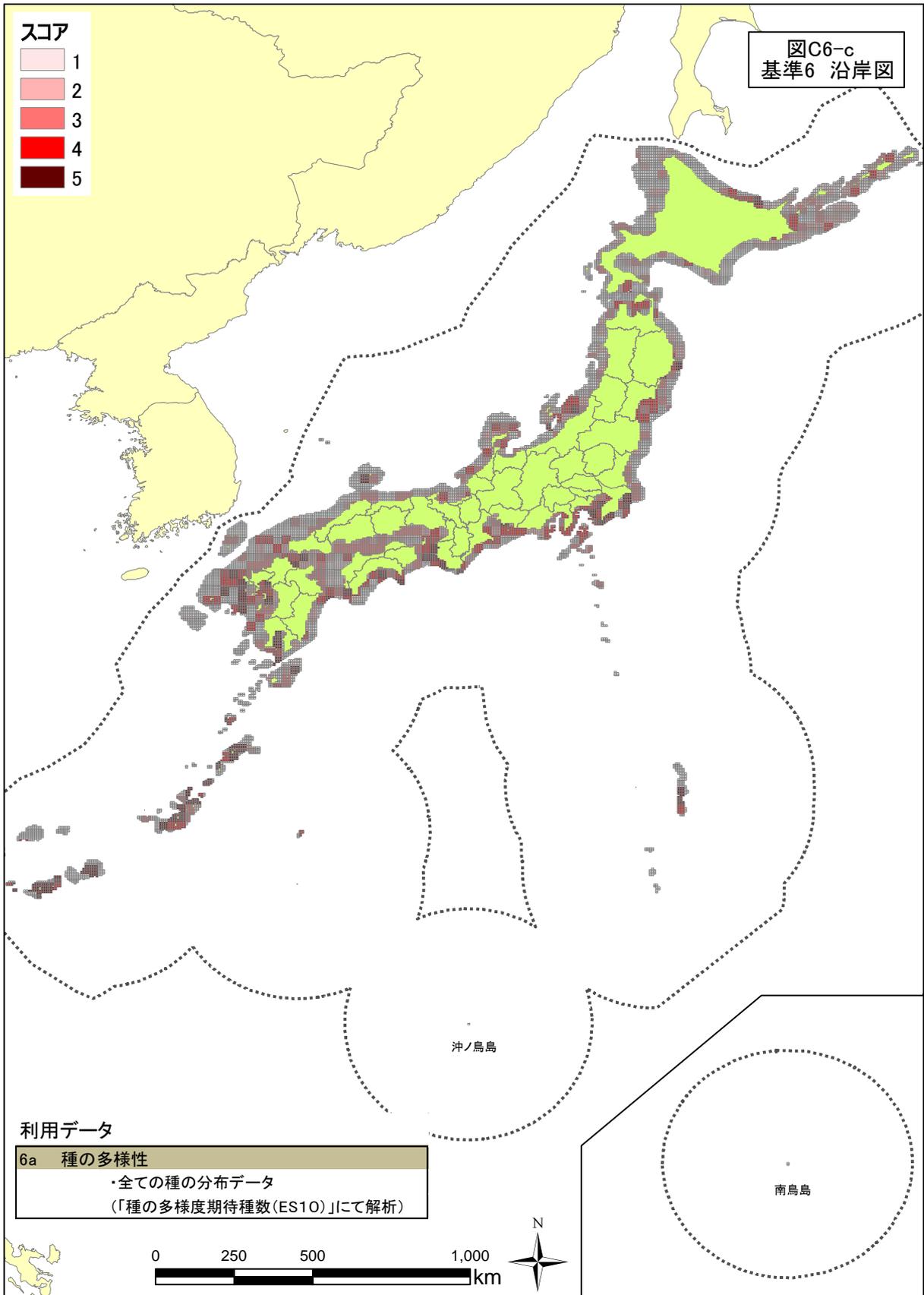
抽出基準 5 (生物学的生産性) 沿岸図 (C5-c)



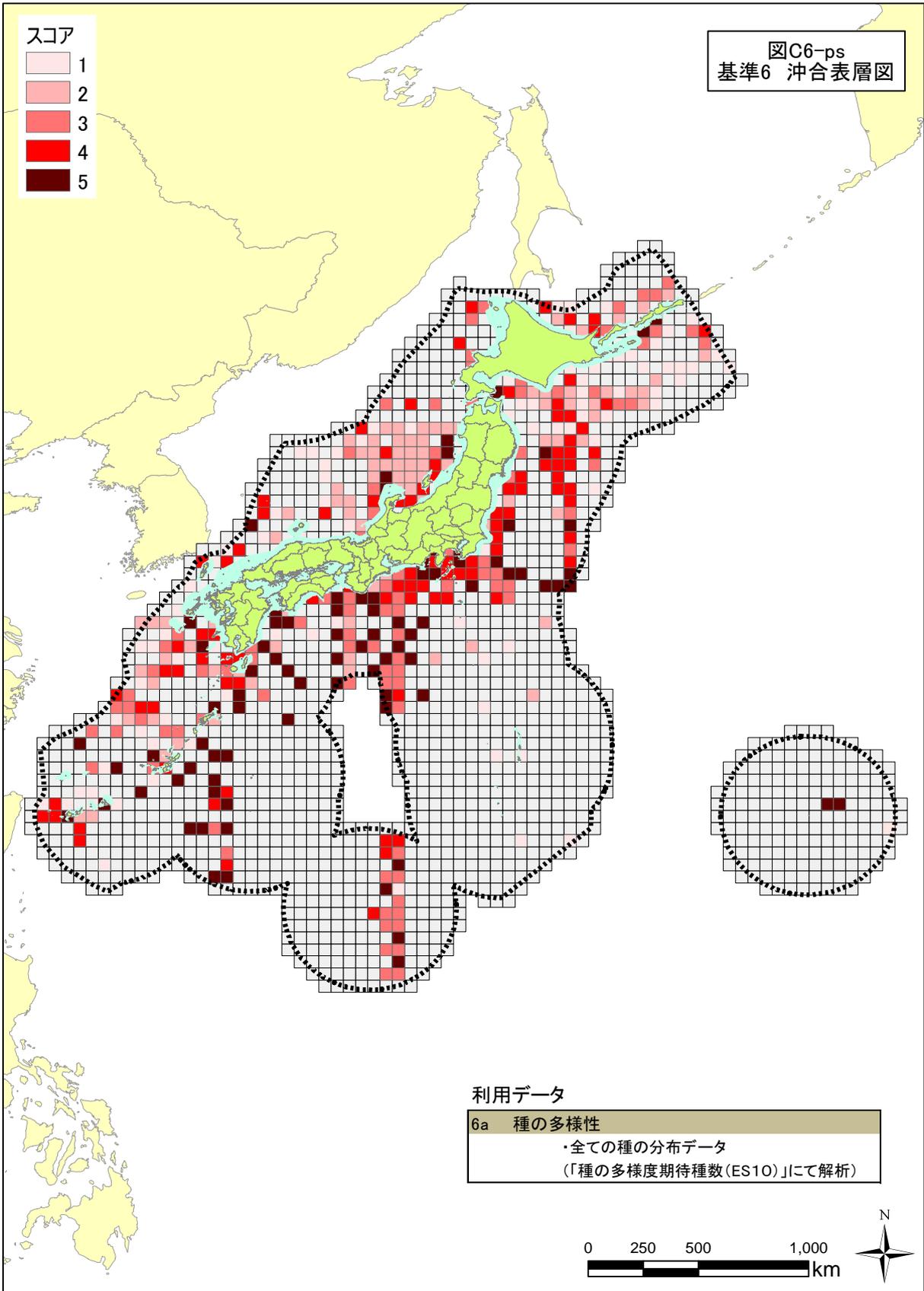
抽出基準5（生物学的生産性）沖合表層図（C5-ps）



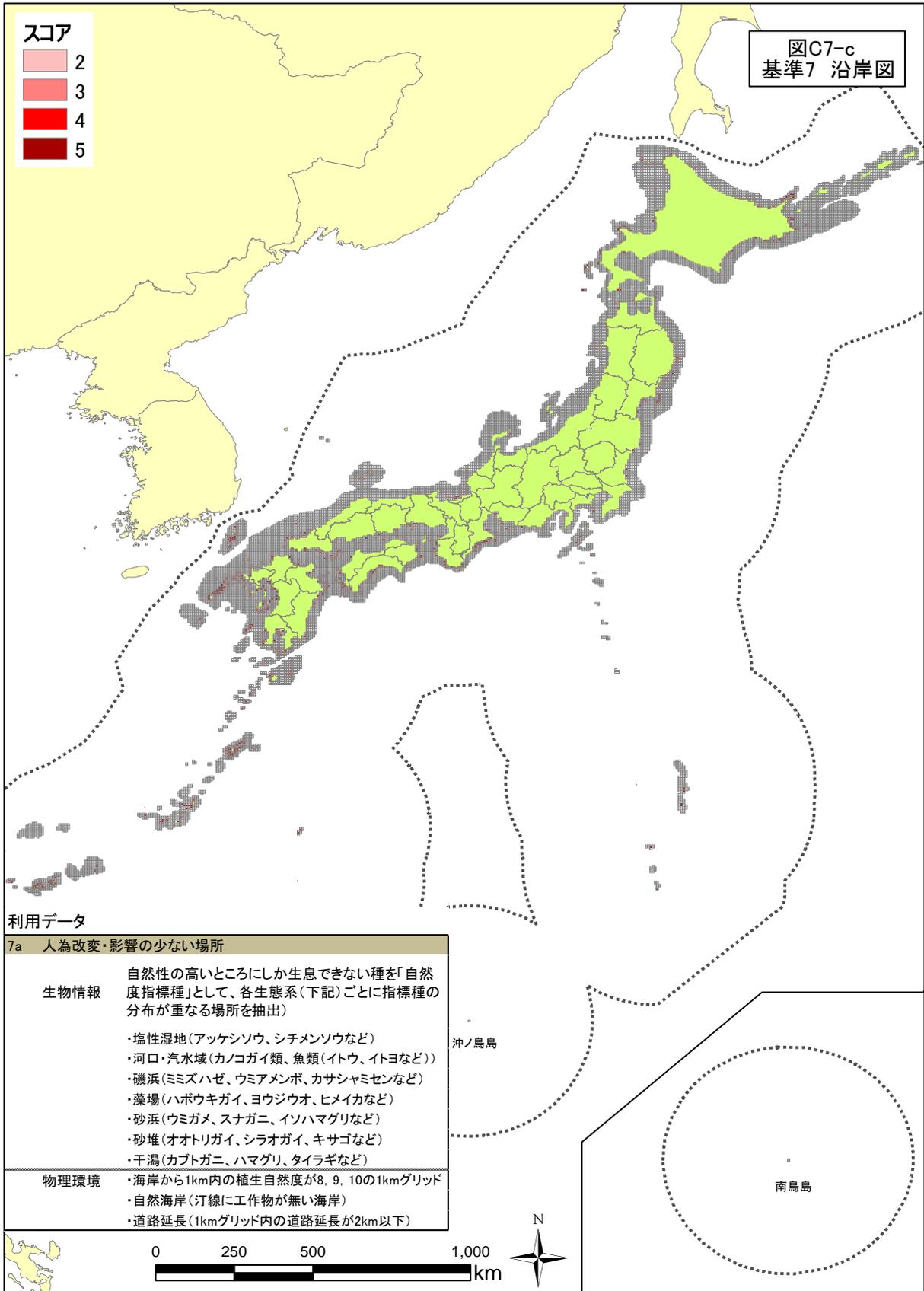
抽出基準5（生物学的生産性）沖合海底図（C5-pb）



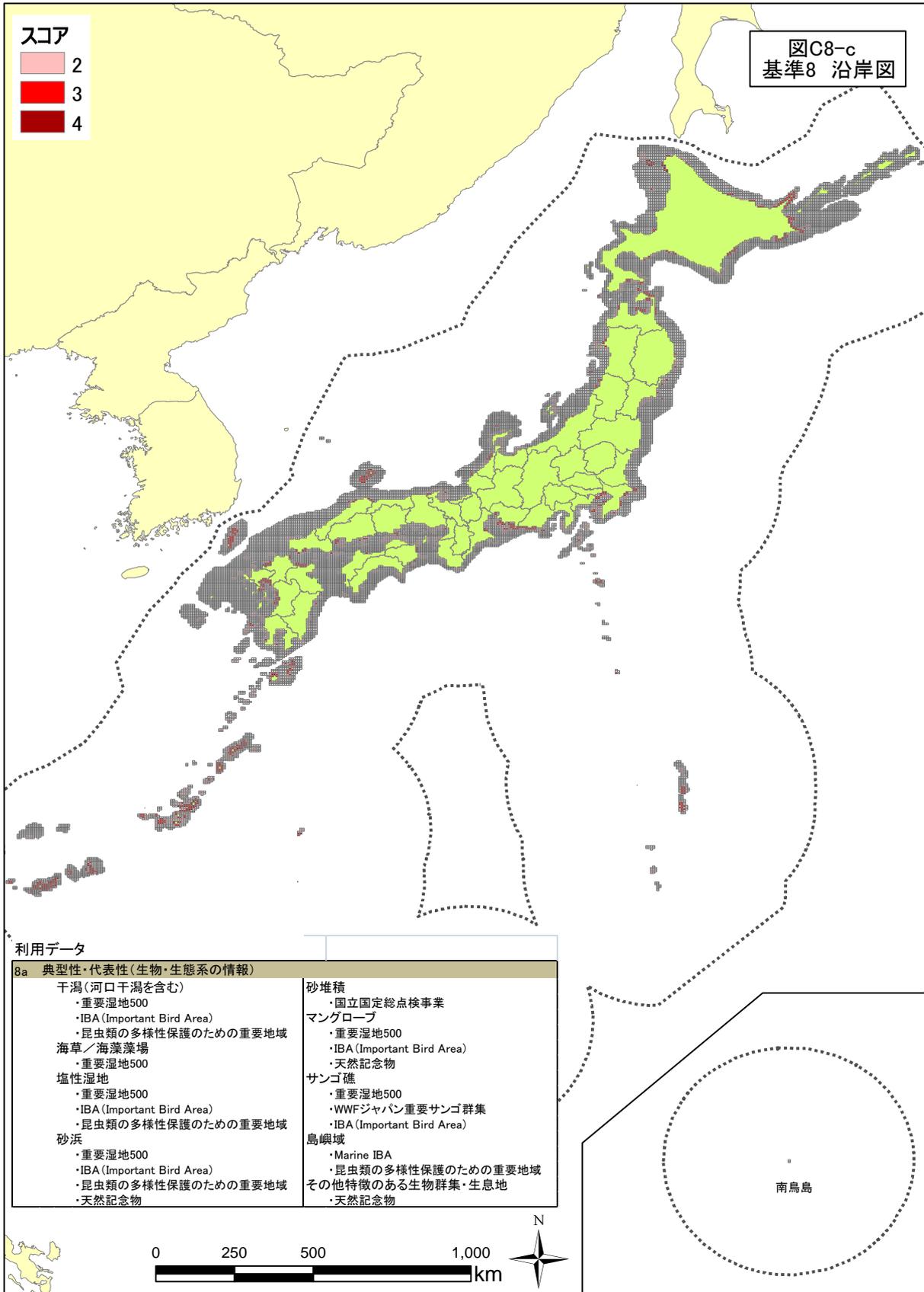
抽出基準 6 (生物学的多様性) 沿岸図 (C6-c)



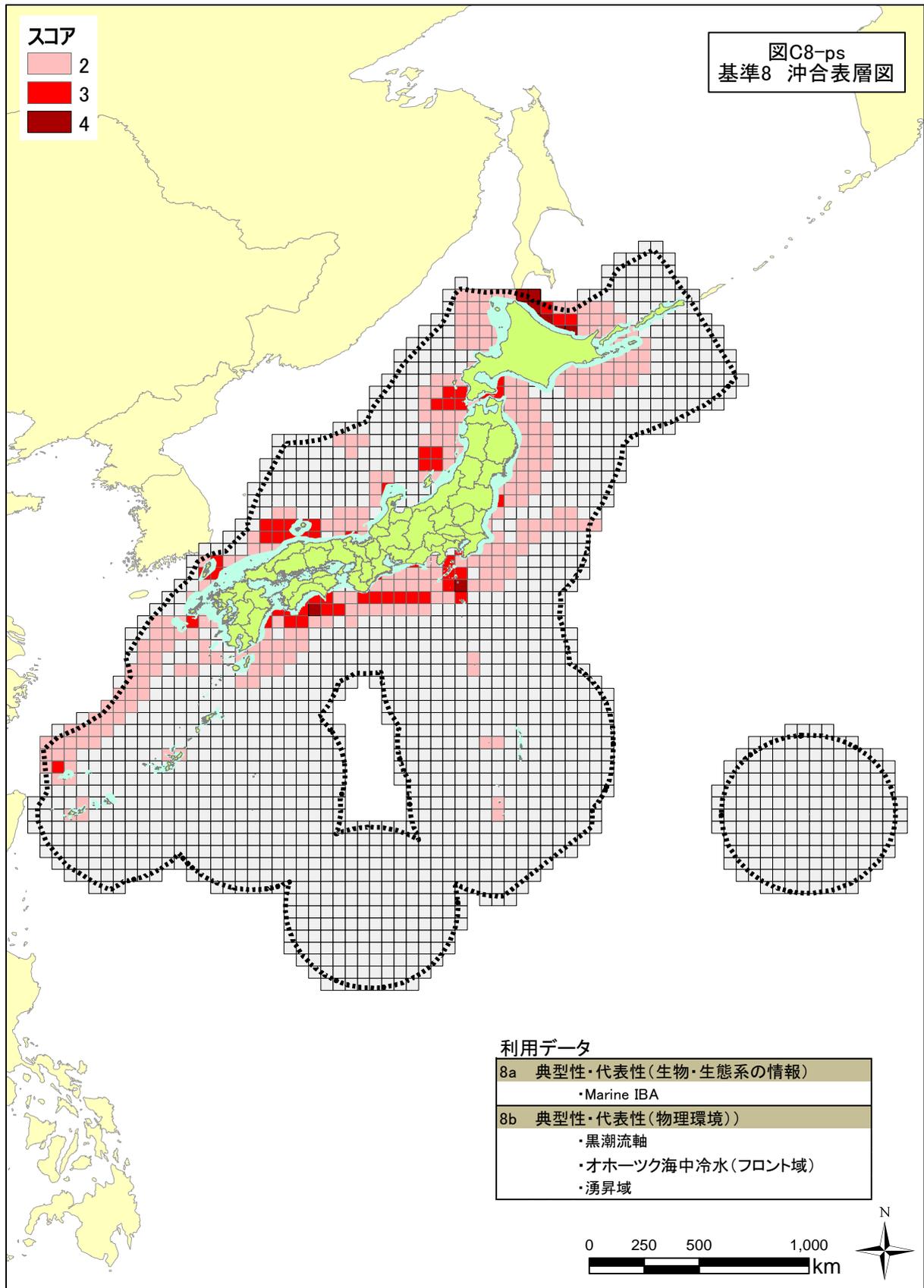
抽出基準6（生物学的多様性）沖合表層図（C6-ps）



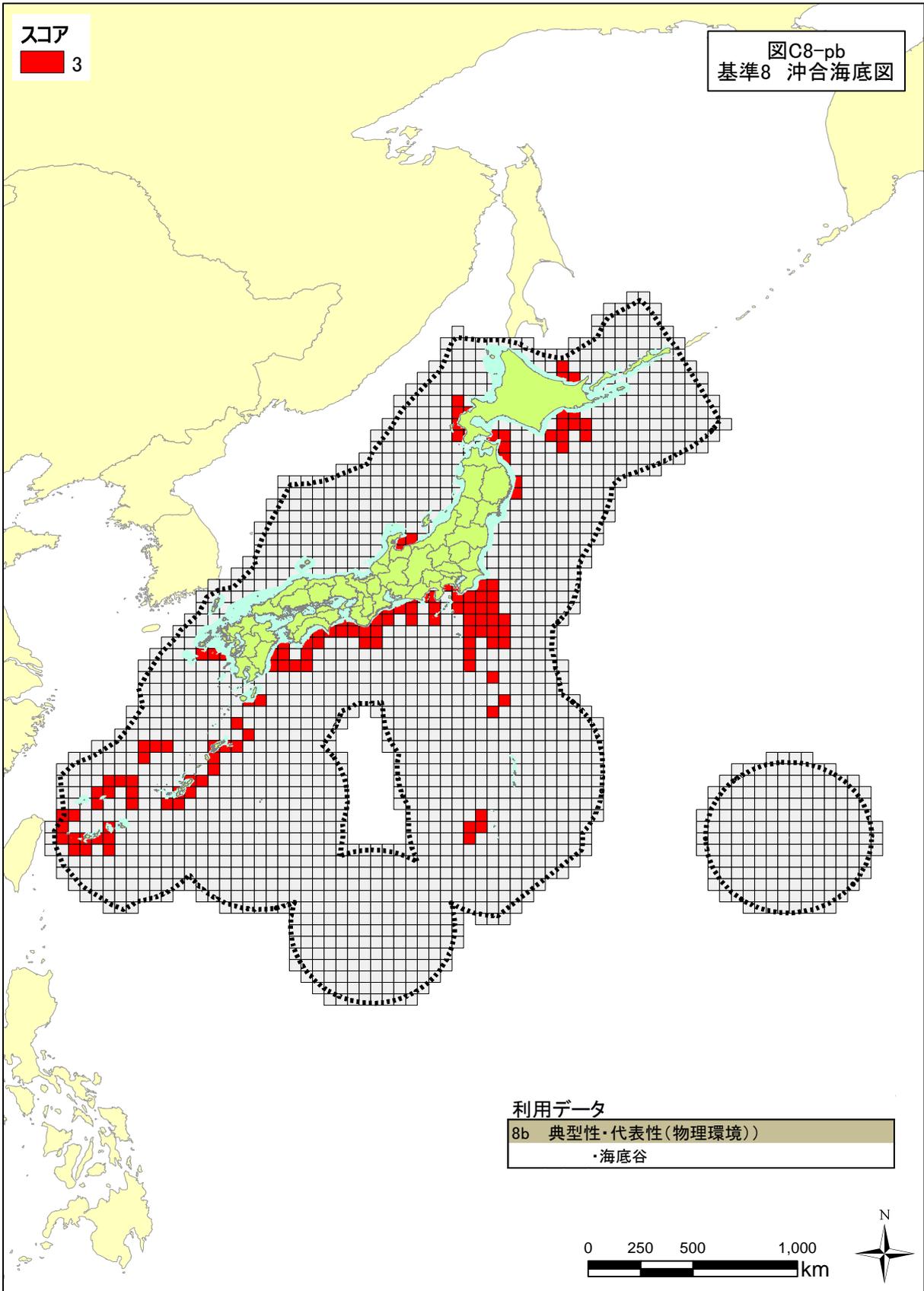
抽出基準7 (自然性) 沿岸図 (C7-c)



抽出基準8 (典型性・代表性) 沿岸図 (C8-c)



抽出基準8 (典型性・代表性) 沖合表層図 (C8-ps)



抽出基準8（典型性・代表性）沖合海底図（C8-pb）

7. 重要海域図（案）の作成

（1）重要海域図（案）とは

「重要海域図（案）」は、抽出基準別情報図を統合し、平成 25 年度の重要海域図の作成の基盤となるものである。そこで数値解析を用いて抽出基準別情報図を統合したグリッドの表示による図を作成し、これを「重要海域図（案）」とした。

（2）沿岸、沖合、海底の区分

抽出基準別情報図と同様に、重要海域図（案）についても、性質や情報量の違いから、沿岸、沖合表層、沖合海底に分けたものを作成した。また、抽出基準別情報図と同様に、解析にあたっては、沿岸域では 5 km グリッド（約 5×5km）、沖合域では 30 分グリッド（約 55×45 km；緯度により異なる）を用いた。よって重要海域図（案）のアウトプットは、以下の 3 つになった。

重要海域 沿岸図【案】

重要海域 沖合表層図【案】

重要海域 沖合海底図【案】

（3）抽出基準別情報図の統合方法の検討

抽出基準間で優劣をつけることは難しく、またグリッドの重なりだけで解析を行うことも難しいため、抽出基準別情報図で付与したスコアを有効に活用することで統合する手法を試みた。以下に示す様々な手法により統合を試み、これらの結果を重要海域抽出検討会において議論し、最終的な重要海域図（案）の作成方法を検討した。

① 試行案 1：「スコア」の積算による「総和統合図」の作成

抽出基準別情報図のグリッド単位（沿岸：5km グリッド、外洋：30 分グリッド）に付与された各基準の「スコア」を用い、各グリッドにおける「スコア」を全て積算し、「総合得点」を求める。その上で、「総合得点」の高低が示された「総和統合図」作成を試みた。

② 試行案 2：「スコア」の乗算による「総乗統合図」の作成

抽出基準別情報図のグリッド単位（沿岸：5km グリッド、外洋：30 分グリッド）に付与された「スコア」を用い、各グリッドのスコアを基準間で全て掛け算し、より高いスコアを出したものをより抽出されやすくする「総乗統合図」を作成を試みた。また、「総和統合図」と同様に、上限 20% の場所を抽出し、図化も行った。

■「総和統合図」及び「総乗統合図」の問題点

通常、より多い基準が重なる場所を選べば、より重要な海域となると考えられることから、これらの各グリッドに付与されたスコアを単純に積算／乗算するとよいという考え方が有効であるように考えられるが、これにはいくつかの問題点がある。